

第6回 SACLA 選定委員会 議事概要

1. 日時

平成 25 年 2 月 4 日（月） 14:30～16:30

2. 場所

東京ステーションコンファレンス 605-A（東京都千代田区丸の内）

3. 出席者（敬称等略）

- 委員 坂田誠（委員長）、雨宮慶幸、太田俊明、諏訪牧子、月原富武、
豊島近、菱川良夫、三間罔興、元廣友美
- JASRI 白川哲久、熊谷教孝、野田健治、後藤俊治、大野英雄
- オブザーバ（文部科学省量子放射線研究推進室）原克彦、宮嶋克彰
（理化学研究所）根本光宏、生越満
- 事務局 牧田知子、杉本正吾、坂川琢磨、田口哲也

4. 議題・配付資料

- (1) 平成 23～24 年度 SACLA 選定委員会委員名簿
- (2) 第 5 回 SACLA 選定委員会議事概要
- (3) 審議事項
 - ① 2013A 期 SACLA 利用研究課題の審査結果等について
(詳細資料は本委員会終了後回収)
 - ② 2013B 期 SACLA 利用研究課題の公募について
- (4) 報告事項
 - ① SACLA の現状について【配付資料なし】
 - ② 第 1 回利用期（2012A）における特定放射光施設（SACLA）のうち研究者等の共用に供する部分の利用実績について

5. 議事

- (1) 開会
 - JASRI 白川理事長より、

- ・ 2013A 期における課題申請の概要（公募時期、応募課題数など）
- ・ 2013B 期の課題公募は基本的に 2013A 期と同じ考え方で進めたい
- ・ SACLA は順調に稼働中である
- ・ 今年度補正予算案として SACLA の新規共用ビームライン整備費等が措置された

との挨拶があった。

○原文部科学省量子放射線研究推進室長より、

- ・ 政府全体として SACLA に対する期待が非常に高い
- ・ できるだけ早く PR できる成果の発信をお願いしたい
- ・ 補正予算で措置される 3 本目のビームライン整備、シーディング技術及び京との連携に向けた環境整備に係る経費は、政府内でもプライオリティが高い位置づけである
- ・ 文部科学省としても引き続き SACLA の利用環境充実に向けて力を入れていくので、引き続きご協力等いただきたい

との挨拶があった。

(2) 審議事項（以下、◇＝委員長又は委員、◆＝JASRI）

① 2013A 期 SACLA 利用研究課題の審査結果等について

SACLA 利用研究課題審査委員会（PRC）委員長である雨宮委員より当該期の課題審査結果、及び前回の SACLA 選定委員会における議事コメントを踏まえた 2012A 期～2013A 期（計 3 期）の課題審査プロセス等について説明の後、以下の主な意見等があった。

◇国の委託事業に係る申請課題が不採択となる場合には、しかるべき指導をするのが適当ではないか。

◇何らかの形でフィードバックするべきと考えている。

◇国の委託事業が成功するかしないかについて本選定委員会がしかるべき責任を負うことになりかねないが、そこまで考えてどうすべきか。

◇国の委託事業が採択される際には本選定委員会は関わっていないことから、本選定委員会の責任は側面的なものであると認識。

◇選定委員会として、本審査結果に基づき 24 課題を採択すること及び計

117 シフトを配分することを承認する。また、国の委託事業に係る課題については、引き続き SACLA 利用研究課題審査委員会にて議論のうえ適切に配慮いただきたい。

② 2013B 期 SACLA 利用研究課題の公募について

JASRI より説明を行い、特に意見等はなかった。

◇選定委員会として、2013B 期 SACLA 利用研究課題の公募の内容等を承認する。

(3) 報告事項 (以下、◇=委員長又は委員、◆=JASRI)

① SACLA の現状について

JASRI より説明の後、以下の主な意見等があった。

◇最終的な目標である定常運転時繰り返しレート 60Hz は時間がかかりそうか。

◆レートを上げると機器・素子の熱対策が厳しくなる可能性があるため、現状の 10Hz から少しずつ上げてゆくことが必要。

◇LCLS では既にセルフシード光が利用されているとのことであるが、SACLA でのシードの特長は何か。

◆SACLA ではパルスごとエネルギーのゆらぎが少なく、利用面ではかなり使いやすくなると考えている。

◆利用運転時間と利用調整運転時間については今後どうなる方向か。

◇ユーザーへより多くのビームタイムを配分するため、後者の時間について減らす努力をしている。今後ますます前者の時間を増やす方向。

② 第 1 回利用期 (2012A) における特定放射光施設 (SACLA) のうち研究者等の共用に供する部分の利用実績について

JASRI より説明を行い、特に意見等はなかった。

(3) 閉会

○JASRI 白川理事長より、第 I 期 SACLA 選定委員会の委員任期満了に伴い現委員での当該委員会が今回で最後になるが、これまでの SACLA 利用者選定業務立ち上げ期に係る活発なご議論等に対する御礼の挨拶があった。

以 上